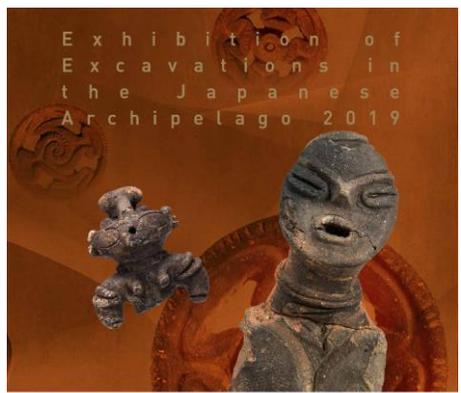

日本博2019年度の取り組み

発見された日本列島 2019

文化庁/東京都, 岩手県, 青森県, 愛知県, 福岡県
 令和元年6月1日(土) ~ 令和2年2月26日(水)
 主催: 文化庁、ほか

埋蔵文化財の発掘調査によって、旧石器時代以来、人は日本列島の多様な気候風土に適応して、多彩な生活文化を紡ぎあげてきたことが分かっています。その中には、自然への畏敬を表した「造形美」、生活に直結した「機能美」など、豊かな美意識を見て取ることができ、日本列島の多様な自然に適応した生活文化の隅々に美意識が刻まれています。国民に日本の文化と歴史により深く、身近に親しんでもらいます。



発掘された日本列島 2019
 新発見考古通観

- 東京野江戸塚京博物館 令和元年7月21日(土) ~ 令和2年7月21日(日)
- 花巻市博物館(岩手県) 令和元年8月2日(金) ~ 令和元年9月10日(水)
- ついで丸山遺跡センター(青森県) 令和元年9月21日(土) ~ 令和元年11月4日(月・休)
- 名古屋市博物館(愛知県) 令和元年11月16日(土) ~ 令和元年12月28日(土)
- 奈良ミュージアム(大野城) 令和元年11月18日(土) ~ 令和2年2月26日(水)

群馬県立歴史博物館100回企画展 ハート形土偶大集合!! - 縄文のかたち・美、そして岡本太郎 -

群馬県立歴史博物館
 令和元年9月28日(土) ~ 12月1日(日)
 主催: 群馬県立歴史博物館

群馬県地域の縄文文化を代表し、秀逸な造形美を誇るハート形土偶(群馬県吾妻郡東吾妻町郷原遺跡出土)。この土偶を軸にハート形土偶の移り変わりを概観するとともに、それ以前や以降の代表的な土偶も紹介します。また、土偶以外の縄文時代の祭りに関する道具も展示し狩猟採集民である縄文人の祈りに関して考えていきます。さらには、縄文土器の造形美から縄文の美を再発見した岡本太郎の作品を通じて、私たち現代人にも受け継がれている縄文人の感性を呼び覚ますものとします。



火焰型土器と縄文文化の 魅力発信事業

信濃川火焰街道連携協議会/新潟県
 令和元年6月21日(金) ~ 令和2年3月31日(火)
 主催: 新潟市、三条市、長岡市、十日町市、魚沼市、津南町、ほか

縄文関連の博物館や自然豊かな地域の祭り等をめぐるバスツアー、ミニ土器づくりや火焰土器に触れることができるイベント、縄文時代から変わらない川の恵みに感謝する鮭の稚魚放流、新潟県立歴史博物館と小学校が縄文文化をテーマに連携して交流学习を行う博学連携プロジェクトなど、自然と共生した縄文文化を体感できるイベント等を開催します。また、協議会に加盟する各市町や新潟県立歴史博物館において縄文に関する展示を開催するとともに、日本遺産である信濃川流域の火焰型土器をwebや各種メディアをとおして国内外に発信します。



縄文文化を体験できる様々な企画を開催



「綴りプロジェクト」-高精細複製画で綴る- スミソニアン協会フリーア美術館の北斎展

すみだ北斎美術館
 令和元年6月25日(火) ~ 8月25日(日)
 主催: 墨田区、すみだ北斎美術館、文化庁、日本芸術文化振興会

米フリーア美術館の門外不出のコレクションを、「綴りプロジェクト」によって、北斎の肉筆画から日本の自然を描いた「波濤図」などの13点の高精細複製画を製作し、すみだ北斎美術館の所蔵品130点と共に多言語で紹介。高精細複製画の屏風の前で外国人を対象にした江戸生活文化体験ワークショップも実施しました。

企画展来館者 29,134名
 うち外国人来館者数 約6,000名
 ワークショップ等関連企画参加者 871名



美を紡ぐ 日本美術の名品 - 雪舟、永徳から光琳、北斎まで -



東京国立博物館
 令和元年5月3日(金・祝) ~ 6月2日(日)
 主催: 東京国立博物館、文化庁、読売新聞社

文化庁、東京国立博物館、宮内庁三の丸尚蔵館が所蔵する、狩野永徳、雪舟、尾形光琳、葛飾北斎らの「自然」にまつわる名品が中心に並びました。



総入館者数
 106,593名
 うち外国人来館者数
 3,593名
 総入館者に占める割合
 3.4%

※「綴りプロジェクト」… 京都文化協会とキャンノンが推進する文化財の高精細複製品を制作・活用するプロジェクト

日本文化体験「日本のよろい！」

東京国立博物館
令和元年7月17日(水)～9月23日(月)
主催：東京国立博物館、文化庁、日本芸術文化振興会

日本の甲冑を皮革・漆等の自然素材などで再現した「甲冑製作技術」、「ハンズオン甲冑」、「甲冑のレプリカ着用体験」を安土桃山時代の本物と併せて展示しました。サポートスタッフの配置や、日英中韓4か国語表記により、訪日観光客にも日本文化を楽しめる企画を実施しました。



総入館者数
112,150名
うち外国人来館者数
39,641名
総入館者に占める割合
35.4%

《アンケートからの抜粋》

- ヨーロッパの、少なくとも標準的な鎧はもつと地味です。ただ仕事をするために作られている。日本のよろいは本物の芸術といった性質が強いですね。それが両者の違いだと思います。これを着けるのも、芸術だと思いますね！(ドイツ・30代・男性・旅行者)
- 素晴らしいと思いました。さまざまな種類の鎧がどのように組み立てられているのか、どのように異なる板を組み合わせているのかが見ることができて本当に興味深かったです。それに、それぞれの鎧に取り付けられている多様な飾りも。(アメリカ・30代・男性・旅行者)

甲冑と甲冑製作技術の展示

重要美術品/金小札紅糸中白威鏡巻/安土桃山時代・16世紀/東京国立博物館蔵

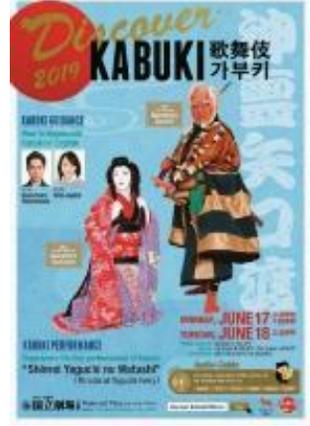
自然素材と、金属、染織などを組み合わせて作られ、使われる技術も多彩。腰回りを防御する草摺(くさずり)には、革でできた小札(ござね)と呼ばれる小さなカードのような部品を横に重ねたもの、漆で塗り固めて横の列につなげたもの、絹の組紐によって縦の列に綴り合わせたものがあり、甲冑はさまざまな素材や技法によってつくられています。

着用体験実施日数
1日11回×15日間
(1回約30分)
着用体験者総数
395名
うち外国人体験者数
91名
総体験者数に占める割合
24.93%

Discover KABUKI —外国人のための歌舞伎鑑賞教室—

日本芸術文化振興会 国立劇場
令和元年6月17日(月)～18日(日)
主催：文化庁、日本芸術文化振興会

日本の伝統芸能「歌舞伎」の魅力を解説付きで上演する外国人向け入門公演です。日英中韓西仏の6言語対応による音声ガイドとプログラムを提供しました。初の試みとして外国人向けに歌舞伎の演技や太鼓の演奏を体験できるワークショップも実施しました。在日大使館関係者の招へいも実施しました。



来場者数：3公演 2,460人
(うち約7割が外国人)

《訪日外国人のための取組》

- 日本語と英語を交えた解説
- 中国語・韓国語・スペイン語・フランス語の音声解説
- 舞台鑑賞後、プロの指導による
 - ・大太鼓の演奏体験
 - ・歌舞伎の演技体験
 - ・立役の演技とツケの体験
 - ・女方の演技体験

《アンケートからの抜粋》

- ・役者たちの演技が素晴らしい。歌舞伎がこんなに楽しいとは思っていませんでした。とても面白く、機知に富み、優れた演技だ。
- ・歌舞伎の舞台がこれほど引き込まれるものだとは思っていませんでした。すべて理解でき、見ていて楽しかった。最初の説明はとても役に立ちました。公演全体を通して役に立ちました。
- ・日本語が母語でない人たちに伝えた伝統的な歌舞伎の活動をぜひもっと行ってください。今日はたいへん愉快でした！



「外国人のための歌舞伎ワークショップ」 女方の演技体験

外国人のための能楽鑑賞教室 Discover NOH & KYOGEN

日本芸術文化振興会 国立能楽堂
令和元年5月29日(水)、10月31日(木)
主催：日本芸術文化振興会

「外国人のための能楽鑑賞教室 Discover NOH & KYOGEN」は伝統的な舞台芸術である能と狂言を、英語による解説を交えながらコンパクトに上演しました。多言語化されたパンフレットや字幕による解説を用意したことで、さらなる訪日外国人の誘客を図りました。また、外国人向けに、大鼓・小鼓の演奏体験や、装束の着用が体験できるワークショップも実施しました。



《訪日外国人のための取組》

- 日本語と英語を交えた解説
- 英語・中国語・韓国語の字幕解説
- プロの指導による
 - ・大鼓の演奏体験
 - ・小鼓の演奏体験
 - ・装束の着用体験
- 英語・中国語・韓国語・フランス語・スペイン語によるアンケート調査

《アンケートからの抜粋》

- ・能楽師の皆様への敬意と感謝を受け、公演を心から楽しむことができました。能と狂言の文化は、古い一方で実に現代的です。
- ・このような解説付きの公演を催して下さった能楽堂に感謝いたします。外国人が、とても豊かな日本の文化に少しでも触れられる機会です。



ワークショップの様子

・多くの視野を開いてくれ、思いつたことのないアイデアをもらいました。最高の日本文化遺産の一つを観劇する機会をいただいたことに感謝します。またの観劇の機会を望んでいます。このような良い取り組みをぜひ続けてください。

日本遺産を活かした伝統芸能ライブ「NOBODY KNOWS」プロジェクト

—日本の自然と祈り、自然と技—



NOBODY KNOWS

山形県鶴岡市、神奈川県伊勢原市、岐阜県高山市、富山県南砺市、岡山県倉敷市、大分県豊後高田市

令和元年9月～11月

主催：公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、文化庁、日本芸術文化振興会、ほか

「生き生きとした伝統文化体感ライブ」をコンセプトにした、日本文化発見プロジェクト。全国の日本遺産における伝統建築や史跡等を舞台に、地域の歴史的背景から伝承されてきた“自然と祈り”または“自然と技”を切り口に、バイリンガル対応のトークや芸能などを通して地域の日本遺産を構成する文化芸術を取り上げる、これまでにない「タイムトリップ型」の伝統文化ライブを開催しました。驚きと発見と楽しさに満ちたディープな日本がここに！開催地によって地域住民との交流や、自然・食・工芸等をテーマにした体験企画も実施し、さらに、旅行会社とタイアップした企画も実施しました。

- 《開催地・会場・開催時期》
- ・岐阜県（高山市） 日下部民藝館（国重文）
飛騨匠の技・こころ
一木とともに、今に引き継ぐ1300年—
時期：令和元年9月23日（月・祝）
 - ・富山県（南砺市） 井波別院瑞泉寺
宮大工の鑿一丁から生まれた木彫刻美術館・井波
時期：令和元年10月6日（日）
 - ・岡山県（倉敷市真備町） 箭田大塚古墳（国史跡）
「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま
～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～
時期：10月13日（日）
※西日本豪雨被災地復興支援
 - ・神奈川県（伊勢原市） 大山阿夫利神社下社、東学坊
江戸庶民の信仰と行楽の地
～巨大な木太刀を担いで「大山詣り」～
時期：令和元年10月26日（土）
 - ・山形県（鶴岡市ほ） 出羽三山神社・三神合祭殿（重文）
自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』
～樹齢300年を超える杉並木につつまれた
2,446段の石段から始まる出羽三山～
時期：令和元年11月2日（土）
 - ・大分県（豊後高田市） 天念寺（国名勝）
鬼が仏になった里『くにさき』
時期：11月30日（土）



伊勢原市・大山阿夫利神社



高山市・日下部民藝館



中部山岳国立公園×日本遺産ガイドツアー



南砺市・井波別院瑞泉寺



鶴岡市・出羽三山神社



倉敷市・箭田大塚古墳



豊後高田市・天念寺

工芸2020 - 美のかたち - 『Kogei Dining』

東京会場：明治神宮 桃林荘、京都会場：下鴨茶寮 供御所
 東京会場：令和元年11月6日（水）、京都会場：令和元年11月21日（木）
 主催：文化庁、日本芸術文化振興会

工芸と伝統芸能の重要無形文化財保持者と、日本を代表する料理人による技をコラボレーションした、質の高いプログラムの実施を通じて、様々な価値を創造し、伝統的な技の継承と共に革新的な創作に繋げることを狙った企画です。また、工芸作家の活動のフィールドを多方面に広げ、多くの方に工芸作品と触れ合う企画を提供することを目的にしています。
 「Kogei Dining」は、「工芸2020—美のかたち—」展（東京国立博物館 2020年秋開催予定）関連プログラムとして試行的に企画実施されました。

【東京会場】

室瀬和美氏による『漆碗 ちょもらんま』（写真左・右）

東京会場食事風景

東京会場伝統芸能：
国立能楽堂のプロデュースによる能楽囃子

東京会場講演会：
左より室瀬和美氏、山本征治氏、小山薫堂氏

【京都会場】

京都会場伝統芸能：
井上八千代師による京舞（後：前田昭博氏の作品）

前田昭博氏による器に盛られた『海老宇』

京都会場講演会風景：
左より坂本健氏、森川裕之氏、前田昭博氏

京都会場：
前田昭博氏による『白瓷捻面取盃』使用風景